

うきは市低所得高齢者等住まい・ 生活支援モデル事業の取り組みについて



うきは市保健課 介護高齢者支援係
社会福祉法人うきは市社会福祉協議会

うきは市ってこんなところです

- 平成17年 3月20日に旧浮羽町と旧吉井町が合併し「うきは市」が誕生しました。
- うきは市は福岡県の南東部に位置し、北は朝倉市、西は久留米市、南は八女市、東は大分県日田市と接しています。
- 面積は117.55km²で、約75%が、耕地、山林といった自然豊かな地域となっています。
- うきは市の観光名所としては、国の重要伝統的建造物保存地区選定されている、筑後吉井の白壁の町並みがあります。春には「筑後吉井のおひなさま」を開催。珍しい「おきあげ雛」や「箱雛」が商店や旧家に展示されています。
- うきは市の山あいには、石積みが美しい棚田や、源流の滝へと続く深い森が広がっています。その自然景観の美しさから、「森林セラピー基地」にも認定されています。
- いちご、桃、ぶどう、梨、柿など四季折々のフルーツが実るフルーツ王国でもあります。



うきは市の現状

(平成29年4月1日現在)

- ・人口: 30,450人
- ・高齢率: 32.3% (9,822人)
- ・後期高齢率: 17.0% (5,185人)
- ・年少率: 12.5% (3,809人)
- ・11地区 158行政区
- ・民生委員・児童委員: 67名
(内4名が主任児童委員)
- ・福祉委員: 370名 (H29.4.1現在)
行政区長推薦を経て、社協会長が委嘱
任期: 2年 (H29.4.1～H31.3.31)

うきは市のゆるキャラ
うきぴー



**うきは市低所得高齢者等住まい・生活支援モデル事業
では、相談しやすい雰囲気づくりに努めています**



住まいに関する相談として看板をあげましたが、実際に受けた相談は、多岐にわたっています

◆相談延件数

※ 1 件の相談で 2 つの相談があれば 2 件でカウント

H28	H27年度 (H28年1月～3月)	H28年度	H29年度 (H29.4月～10月)	合計
住み替えに関する相談	17	32	36	85
転宅費用等に関する相談	5	3	3	11
住宅改修に関する相談	9	47	8	64
その他	20	364	173	557
合計	51	446	220	717

- ・住み替えの相談は、事業開始からの実相談者数は41件です。高齢者だけでなく、障害をお持ちの方や生活困窮者自立支援事業に該当するような方、外国の方等の相談もありました。ただし、紹介した民間住宅の家賃（3万円台）を負担するのが難しい事例が多い状況で、民間住宅への斡旋を行ったのは6件で、内1件は実際に転居しています。また、相談者の中で2件は公営住宅へ転居しています。
- ・その他としては、介護保険サービスの相談、自宅の老朽化、就労支援について、土地の境界線について等、相談が多岐にわたっています。また、いわゆるゴミ屋敷のような、いろんな課題が重複しているような相談もあり、関係機関との連携がより必要となってきています。
- ・相談支援の拠点につどい場を併設しており、ちょっとした心配ごとや介護ストレスを抱えている来所相談も増え、「まちの保健室」的な役割も大きくなってきています。

対象者把握のルート整備として、まずニーズ調査を行いました

1. 対象者

うきは市内の

- ・75歳以上の1人暮らし高齢者世帯（589世帯）
- ・高齢者のみの世帯（340世帯）

2. 回収率 88.1通（回収率93.6%）



3. 実施方法

- ・留置調査法にて実施。民生委員による配布、回収調査。

アンケート調査から見てきた、うきは市の 高齢者の住まいの実態は…

- ・うきは市内の一人暮らし高齢者世帯と高齢者のみの世帯の約 8 割が持家、約 1 割が借家。
- ・「現在の住まいで困っている」と答えた方の約半数が「住宅の老朽化」を、約 35%が「バリアフリーの問題」をあげている。また、約 32%が「買い物や交通の便が悪い」と答えている。
- ・約 8 割の方がそのままか改修してでも現在の住まいに住み続けたいと答えている。一方で住み替えしたいと答えた方は約 2%で、高齢者の住み替えニーズは低い。
- ・住み替えをしたいと思う理由としては、「介護が必要になった時の不安」が 1 位で、次いで「今の家の維持管理が大変」、「建物が古くて使いにくい」の順となっている。
- ・住み替えで困ったことの内容としては、「家賃など費用面で希望する住宅がない」が 1 位。

アンケートから、こんな相談もあがっています

住宅の老朽化の相談で、実際に相談員が訪問したところ、ちょっとした住宅の修理をすれば、住みやすくなるといった相談も…。



ボランティアグループでの
ちょっとした住宅修理の対応をして
いただき、相談が解決に至った例が多く
ありました。

地域での助け合いといったなインフォ
マルサービスについていくことで、うきは市
にいつまでも住み続けることにつなげて
いきたいと考えています。

不動産事業所への聞き取り調査も行いました

- ・実施概要 協力申し出不動産事業所 8 社
- ・実施方法 相談支援員による聞き取り調査
- ・調査期間 平成 2 8 年 9 月 2 日～ 1 5 日

【主な意見】

- ・高齢者等の住宅確保要配慮者への配慮については、いろいろなご意見がありましたが、死亡事故があった場合、不良物件になるリスクを心配する声があり、見守り体制の充実が必要とのご意見が多数ありました。
- ・見守りの形は、地域の見守りもあれば、ヤクルト等を賃料に組み入れて、3 日に 1 度の企業による見守り体制を構築してはどうかとの意見もありました。
- ・住宅確保要配慮者への賃貸や賃貸物件のリフォームを民間企業が積極的に行っていくことは難しく、公的な環境整備が求められるとの意見がある一方で、事業者も住宅確保要配慮者への賃貸については、配慮をすべきという意見もありました。
- ・空き家の活用やシェアハウス、賃貸と医療を身近にした施設が必要との意見もありました。

住まいに関するネットワークの構築



うきは市・住宅関係事業者・関係団体等との支援連携協働のネットワークづくり、対象者の住まいにふさわしい物件の開拓、物件情報の共有等を行うことを目的に、**高齢者等住まいネットワーク会議**を開催しました。

◆高齢者等住まいネットワーク会議（H28.9.20開催）



- モデル事業で実施したアンケートや相談の中から見えた課題、住環境建設課が28年度に行った「空き家調査」について、市営住宅の入居条件と身元保証の課題、うきはブランド推進課が進めている、空き家バンクの取り組みの状況などの情報交換を行いました。

相談対応から見えてきた課題…

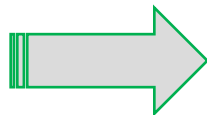
- ・事例 1 民間アパートから公営住宅への住み替えした事例
- ・事例 2 公営住宅から民間アパートへの住み替えした事例
- ・事例 3 住み替えを躊躇された事例



こんな住まいの相談にも対応しました

地域の民生児童委員さんからこんな相談が…

自分の担当地区の高齢者が、引っ越しをしなければならない状況になったが、一人暮らしで子供もいない。一人では片付けもままならない状態で、なんとかできないだろうか？



うきは市では、市内10社会福祉法人で「うきは市社会福祉法人連絡協議会」を組織し、協働で地域貢献活動に取り組んでいます。

そこで、各社会福祉法人の参加できる職員で、片づけに協力させていただきました。

また、市内の方からご寄付いただいた家電製品等もお渡ししお困りの方に活用させていただきました。

こんな住まいの相談にも対応しました



- ・平成29年7月5日、九州北部豪雨が発生。
隣接自治体である朝倉市、東峰村等が大きな被害を受け、うきは市内のアパートに見なし仮設として入居されていたり、うきは市内の親戚、縁戚を頼って多くの方々がうきは市内で今も生活されています。
- ・うきは市社会福祉協議会では、みなし仮設の方々への訪問を実施しました。

その後みなし仮設に入居されている方からこんな相談が…

アパートの玄関に入るまでの道が狭かったが、自分だけが住む予定だったため、うきは市内のアパートにみなし仮設に引っ越してきた。しかし、母親が退院し、アパートと一緒に住むことになった。デイサービスのお迎えなどに困っているため、どこか別のところに引っ越しができないだろうか？



みなし仮設の期間は最長2年間だが、一度みなし仮設から別のアパートに引っ越すと、みなし仮設にはみなしてもらえないこと、またどうしても今の家が不都合であるならば、自力での引っ越ししかなく、アパートの紹介や、貸付制度などは相談に乗れることなどをお話させていただきました。

「かわはらさんち」は、つどいの場としての活用もされています



H28.2.18 開所式
80名の方がおいで下さいました





薬剤師さんによる「お薬のお話し」、
ボランティアグループによる、ぜんざい
会など、地域の方々にご協力を
いただき、にぎやかな開所式になり
ました



つどいの場は地域の方やボランティア、社会福祉法人等の協力で利用者が増えています

地域の方のご協力で毎週木曜日の午後「楽しく手仕事」と題していろんな小物づくりをしています。



市内の社会福祉法人から社会貢献活動として出前講座をしていただいています。
介護保険制度について学びました！

かりんのつどい

調理ボランティア「かりん」の協力により、おいしいお食事と楽しい会話を楽しむ会が、2ヶ月に1回おこなわれています。



みなさんで一緒に食べる
お食事はさらにおいしいですね！



みなさんでお彼岸団子づくり
素敵なカフェになりました♪



近くの小学生が遊びに来てくれました♪

こうした高齢者等の**居場所**づくりの**取り組み**は、**地域包括ケアシステム**構築の一翼になるのではと考えています。



よりあい活動（サロン活動）をはじめた地域も…

うきは市内では、地域の福祉委員さん、民生委員さん、ボランティアさんによる、よりあい活動が盛んです。しかし、この「かわはらさんち」がある小学校区は、各行政区ごとの公民館がない区が多く、よりあい活動がなかなか広まっていなかった現状もありました。「かわはらさんち」ができたことで、「よりあい」が始まった区もあります！





今後の課題



- ・住まいに関するネットワークの構築
- ・高齢者が希望する家賃（3万円台）の物件の開拓
(不動産事業者の協力、賃貸に利用できる空き家について、地域から情報提供してくれるようなルートの確保など)
- ・介護を必要となる前に、適切な住み替え支援が必要
- ・住み替えに困っているのは高齢者だけでなく、障害をお持ちの方や生活困窮者自立支援事業に該当するような方などさまざま、また、いろんな課題が重複しているような相談もあり、関係機関との連携がより必要となってきた
- ・うきは市の地域福祉活動を生かした、居住継続支援を今後もおこなっていく必要がある
- ・つどいの場をまだ一部の方しか利用していない面もあるため、広報活動に力をいれていく必要がある

住み慣れたうきは市で 最期まで自分らしく暮らしていくために



ご静聴ありがとうございました